

薬局紹介 (株)ファーマックス 北秋調剤薬局

薬局長 石川 秀明



昨年4月に北秋田市民病院の開院に合わせて、病院前（といっても病院玄関より約400mあります）に新規開局しました。以前の薬局は「北秋調剤薬局鷹巣店」と改称し継続して営業しています。

従業員は鷹巣店と、鹿角市に昨年5月にオープンした「ファーマックスかづの薬局」に分散し、現在、薬剤師7名、事務職7名の体制となっています。

鷹巣店と比べて5倍以上の敷地面積があり、来局者用駐車スペース、待合室、調剤室等もゆつたりと確保されています。それでは、各施設等を紹介します。

○待合室

リラックスして待ち時間を過ごせるように余裕をもった造りとなっています。2つあるテーブル席では、子供たちが塗り絵をして過ごしたり、バス時間までお弁当を食べるお年寄りの姿が見受けられます。また、無料の日本茶、水を提供する自動販売機も設置しています。トイレは車いすでの利用も可能でおむつ交換台、こども用イスも完備しています。



○投薬カウンター

プライバシーに配慮した構造になっており、一番奥のカウンターでは、座ってゆっくり薬等について相談できるコーナーを設けています。



○調剤室

錠剤棚、自動錠剤分包機、散薬分包機等を最新式に換えました。特に自動錠剤分包機の更新により一包化調剤が飛躍的にスピードアップしました。



○過誤防止システム

散薬監査システムは以前より稼働していましたが、新規に処方箋入力システム「フェイス」を導入しました。このシステムは処方箋をスキャナで読み込み、患者情報・保険情報・医療機関情報・および処方情報を瞬時にレセコンに読み取ることが出来ます。これにより時間短縮と入力ミス防止に役立っています。

また、鷹巣店に最近導入されました「計数監査システム」は、調剤棚の薬剤データと処方データをバーコードを使ってチェックするシステムで、ピッキングミス防止に期待されます。



開局して間もなく 1 年ですが、今後も地域住民の皆様の健康の向上に貢献できるように頑張っていきたいと思えます。